

神戸・西宮

ダイヤモンドレモン



すっきりとした味わいに炭酸が弾けるダイヤモンドレモン(オープン価格・330ml)

布引礦泉所

【ゆのびきこうせんじょ】
www.nunobiki.co.jp

この銭湯で買えるよ!

天然温泉 蓬萊湯(神戸・P58)

年表
1899年 初代・石井清さんが炭酸水の製造を開始。
1914年 ダイヤモンドレモンの販売がスタート。
2006年 四代目・石井孝子さんが代表に。

「創業から変わらず、炭酸と砂糖で作ったシロップ、天然由来の香料を混ぜるシンプルな製法を守り続けています。実は、ペットボトルの炭酸飲料は炭酸の抜けが早く、開封しなくても賞味期限は約6カ月ほど。当社の瓶だと1年半〜2年ほどで、作りたての炭酸の強さが長持ちします。瓶は作り替えて再利用もできるので、環境にも優しいですね」

幼いころから親しんできた味です



代表・石井孝子さん

大阪・能勢

大阪いちごサイダー



大阪産の果汁を使用した大阪いちごサイダー172円(200ml)

柚子サイダー



清々とした柚子の香りを味わえる柚子サイダー237円(250ml)

能勢ジンジャーエール



ショウガをじっくり効かせた能勢ジンジャーエール156円(250ml)

桜川サイダー



クリアな味わいの桜川サイダー189円(330ml)

能勢酒造株式会社

【のせしやうぞう】
nosemizu.com

この銭湯で買えるよ!

能勢温泉(大阪)など

年表
1712年 初代・子安三右衛門さんが清酒製造を開始。
1943年 「能勢酒造株式会社」を設立。
2007年 桜川サイダー販売開始。
2008年 能勢ジンジャーエール販売開始。
2009年 柚子サイダー販売開始。
2020年 大阪いちごサイダー販売開始。

「能勢の天然水を活かした清酒造りに始まり、現在はミネラルウォーターとソーダ水がメイン。最近では地域に貢献できる商品を開発すべく、独自製法によるきめ細やかな炭酸にこだわった地ソーダに力を入れています。2020年発売の『大阪いちごサイダー』は、コロナ禍で打撃を受けた大阪のイチゴ農家を応援する思いを込めてリリースしました」

僕らの技術を地域活性化につなげたい



代表・子安三士さん

滋賀・東近江

メロンサワー



乳脂系飲料を思わせるメロンサワー(オープン価格・200ml)

みかん水



駄菓子のような甘さのみかん水(オープン価格・200ml)

ひやしあめ



「甘いシロウガのやつ」でおなじみ、ひやしあめ(オープン価格・200ml)

南山鉱泉所

【みなみやまこうせんじょ】
yamaminamiyama

この銭湯で買えるよ!

源湯(京都・P11) 梅湯(京都・P27) 松葉湯(京都) トロン温泉(京都) 都湯(滋賀・P31) 容輝湯(滋賀) 延命湯(滋賀) 一乃湯(三重)など ※瓶は要返却

年表
2014〜16年頃 京都で学生時代を過ごす中で、銭湯のアルパイトを機に瓶ジュースと出会い、京都府最南の鉱泉所に通いつめて「精製してほしい」と懇請。継ぎこつとるも、諸事情で断念。
2018年 念願がかなない、先代のレビを継承して鉱泉所を開く。

「大好きな銭湯にまつわるカルチャーを継承したくて、廃業寸前の瓶ジュース屋を引き継ぎました。先代の味を忠実に再現するため、同じ問屋を利用するなど材料も厳選。大きな寸胴鍋で調合し、充填(じゅうてん)から打栓、沸騰殺菌まですべて一人で担当します。廃業した同業者にリターナル瓶をいただき、なるべく当時の姿のまま提供しています」

瓶ジュースは銭湯に欠かせないカルチャー!



代表・北浦 泰々さん

神戸・長田

アップル



長田のお好み焼き店には必ずあるアップル(オープン価格・180ml)

ラムネ



爽快な喉越しはお風呂上がりにぴったり! 爽やかなラムネ(オープン価格・150ml)

兵庫鉱泉所

【ひょうこうせんじょ】
078-576-0761

この銭湯で買えるよ!

扇港湯(神戸・P9) 笠松湯(神戸・P15) あさざり湯(神戸・P33) 湊山温泉(神戸) 湊湯(神戸)など ※瓶は要返却

年表
1952年 初代・秋田政明さんが神戸市長田に「兵庫鉱泉所」を設立。ラムネやアップルといった清涼飲料水の販売を開始する。
1997年 政明さんの逝去により息子の健次さんが代表に。以来、父から受け継いだ手法を守りながら製造を続けている。

「すべての商品に上白糖を使い、いろいろな種類の瓶を再利用して、7種の瓶詰飲料を生産しています。大阪では『みかん水』と呼ばれる『アップル』は、長田区と兵庫区の銭湯やお好み焼き店を中心に親しまれてきたご当地ドリンク。神戸の製造元はうちだけになったけど、下町で長く愛されてきた味なので、できる限り作り続けたいと考えています」

下町で愛される昔ながらの味を守りたい



二代目・秋田健次さん

ネーポンがシロップになって復活!

ネーポン?

今はなき神戸の「ツルヤ食品研究所」で1960年代に誕生し、関西の喫茶店や駄菓子屋、銭湯でも愛飲された柑橘系の清涼飲料水。2007年に同社の廃業により製造終了となったが、12年の時を経て4倍希釈の濃縮シロップとして復活した。



COLUMN

170g 18瓶



ネーブルとポンカンの果汁を使った爽やかな甘さ。炭酸とビールで割ったり、原液をアイスにかけたりとアレンジも楽しめる。1,512円(600ml)

このお店で買えるよ!

ひめよし商店(大阪・鶴見) TANK酒場・喫茶(大阪・心斎橋)



代表・ボン田中さん

一度は消滅した幻のドリンクが愛好家の手によってリバイバル! 「廃業する2年ほど前に「ツルヤ食品研究所」の代表でもある、製造工場のおばちゃん仲間になって、商標とレシピを譲ってもらったんです」と、仕掛け人のネーポン田中さん。まったく同じ原料を集めることはできなかったが、成分分析や試作を重ねて2019年ようやく完成。おばちゃんには親切にしてもらったし、昔好きだったものがなくなってしまうと思うと、そんな優しい気持ちから生まれた新生ネーポン。ぜひ一度ご賞味あれ!



湯上がりに飲みたい! 銭湯のレトロな瓶ジュース。実は100年以上の歴史があったり、先代の意思を受け継いでいたり……。ジュースと一緒にあつ〜い思いも詰まってるんです。駄菓子屋など、銭湯以外の場所でも買えますよ! 写真/西島 浩 取材・文/六車優花 旭山碧弓(SAVVY)

あつ〜い思いが詰まっています!